



なぜなに 育児休業

木来ちゃん(4才)の疑問に
モッカくん(永遠の4才)が答えるよ!



どうしてパパの育児休業が必要なの?



共働きの家庭が増えているのに、昔からの「男は仕事、女は家事・育児」という考えが強くて、ママの負担が大きくなっているんだ。その一方でパパも長時間労働で健康を損なうなどの問題を抱えていて、仕事と生活のバランスをとることがパパのためにも家族のためにも必要になっているんだよ。

パパが育児に積極的に関わることは、働き方を見直すきっかけになるよ。もちろん子どもの成長にも良いし、ママの負担軽減・就労支援などにもなり、少子化、労働力減少などの社会問題の解決につながるんだ。



パパも育児休業がとりやすくなったって、ホント?



よく知ってるね!平成22年に育児・介護休業法が改正されて、育児休業がとりやすくなったんだ。

- ①ママが専業主婦でも取得できる
- ②ママとパパが取得する場合、休業できる期間が1歳2カ月まで延長される
- ③出産後8週間以内にパパが育児休業を取得したときは、その後もう一度取得できる

育児と仕事の両立支援制度もあるよ。

- ④小学校就学前の子が1人だと年5日、2人以上だと年10日、子の看護休暇を取得できる
 - ⑤事業主は3歳までの子を育てる労働者に「短時間勤務制度(1日6時間)」を設ける義務あり
 - ⑥3歳までの子を養育する労働者は、請求すれば所定外労働が免除される
- ※育児休業の申出・取得を理由とする解雇その他の不利益な取り扱い禁止されています



休業中の収入はどうなるの?



育児休業中は無給だけど、雇用保険加入者が育児休業をした場合、給付を受けることができるよ。

◎支給額=休業開始時賃金日額×支給日数×50%(180日間は67%)

それに、事業主が年金事務所または健康保険組合に申し出ることによって、育児休業などを行っている間の社会保険料は本人負担分・事業主負担分ともに免除されるんだ。

(お役立ちサイト・問合せ)

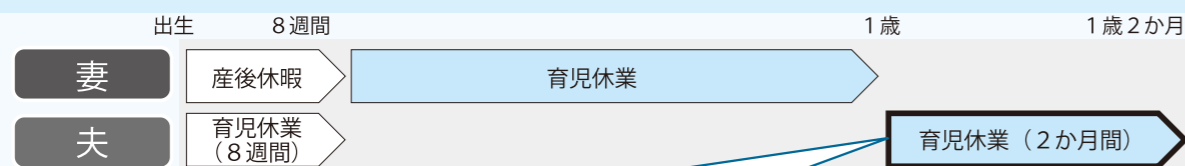
- ◎イクメンプロジェクト(育てる男が、家族を変える。社会が動く)
<http://ikumen-project.jp/index.html>
- ◎育児・介護休業法に関する問合せ
福岡労働局雇用均等室 ☎092-411-4894



とってもよく分かった!

取得例

出産直後や、職場復帰直後の大変な時期に育児休業を取得して、ママをサポート



配偶者の出産後8週間以内の期間内にパパが育児休業を取得した場合には、特別な事情がなくても、再度の取得が可能です!

※育児休業は1日からでも取得できます



いちだともゆき
市田友之さん

「育児休業は子どものためにも自分のためにも取った方がいい。でも、給付金を事前支給するなど制度の拡充はもっと必要」

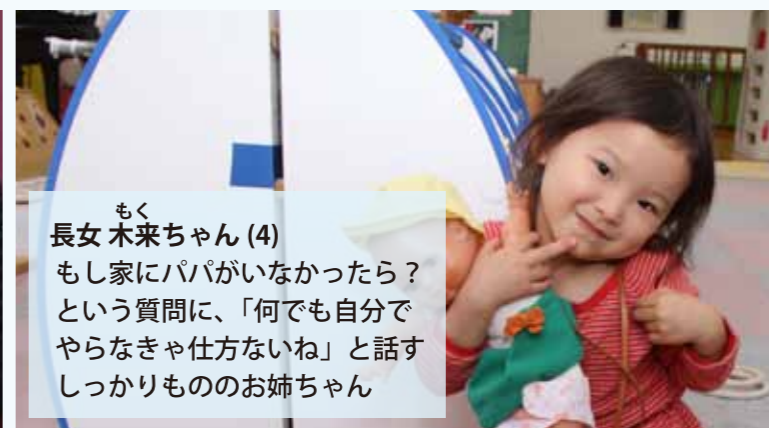
育児休業の期間 平成25年11月～翌年2月
当時の仕事内容 建物の施工管理
得意料理 しりしり(沖縄の郷土料理)

ある一日の様子

- ・子どもと朝ごはんを食べる
- ・オムツを替えて洗濯(布オムツだそうです)
- ・散歩に行く
- ・お昼を食べてお昼寝、たまに一緒に寝ちゃう
- ・夕食準備、夕食を食べる
- ・お風呂、寝かしつけ、これまた一緒に寝ちゃう



むく
長男 椋ちゃん(1)



もく
長女 木来ちゃん(4)
もし家にパパがいなかったら?という質問に、「何でも自分でやらなきゃ仕方ないね」と話すしっかりもののお姉ちゃん

「あつという間でした。もっと長く取ってもよかったかなというくらい。大変な面もありましたが、子どもの貴重な時期を一緒に過ごせたことは良かったです。大きくなってから、『小さいときはこうだった』と体験として話せますから!」

育児休業を振り返って

子どもの寝顔を見る日々
夜10時頃に帰宅して、翌朝4時台の始発に乗る。「過酷」の一言に尽きる仕事をしてきた市田さんが育児休業を取得したのは、第二子椋ちゃんの出産のときのことでした。第一子木来ちゃんが生まれたときも取得を考えたという市田さんは、普段から家事・育児を積極的に行うまさにイクメン。休業による生活の変化にも戸惑わなかったそうです。周囲の反応はどうでしたか。「社内に前例もなく、理解してくれる人ばかりではありませんでしたが、上司からは好意的に受け入れられ、休職・復職はスムーズに進みました」



社内に前例がない育児休業。取得には大変な覚悟が必要だったのではと尋ねると、「せっかく制度があるんだから、利用してみようかなと思って」とあっさり。「他にも前例がないことばかりやってきましたから」と笑う市田さんは、現在は仕事を退職し大川市内で家具職人として活躍中。「ノーと言わない」をモットーに、前向きに新しいことにチャレンジできる市田さんだからこそ、取得できた育児休業かも知れません。
取材後「晩ごはんを作る時間だ」と帰られた市田さん。長女木来ちゃんは、お父さんとお人形遊びをするのが好きなのだそう。父親・母親の固定観念にとられない、新しいパパの姿がここにあります。

パパの育児休業

考えてみませんか?

育児を積極的に楽しむ男性、いわゆる「イクメン」が増えているといっても、男性の育児休業取得率は、3%未満(厚労省「雇用均等基本調査」)。今回は実際に育児休業を体験した市田友之さんにお話を伺い、育児休業の必要性を考えてみました。